

Goto+Bi DX USDJPY の使い方

このEAは稼働すると、下の画像のようにチャートの左側に口座情報と6つのボタンが表示されます。



このEAは、自動でトレードする機能と、手動でトレードできるボタンを搭載しているため、主に次の3種類の使い方ができます。

1. 全てEAに任せて完全自動トレード（基本的な使い方）
2. EAの自動トレード+手動トレード（応用）
3. 手動トレードツールとしてEAを使う（応用）

1. 全てEAに任せて完全自動トレード（基本的な使い方）

基本的な使い方は、EAに任せて完全自動でトレード。

USDJPYのM5のチャートにEAを設置して、ロット数を証拠金に合わせて設定して稼働します。

EAで設定したロット数が上の画像の②のところに表示されます。

パラメーターの設定で色々カスタマイズすることもできます。

例>

買いエントリーのみにしたい場合は、自動買いエントリーは true で、自動売りエントリーは false にする。

月曜日の買いエントリーを避けたい場合は、月曜日買いエントリーOFF を true にする。

買いエントリー時間を 1 時 5 分にしたい場合は、買いエントリー時間 (時) を 1 に、買いエントリー時間 (分) を 5 にする。

2. EAの自動トレード+手動トレード

EA を稼働して、自動でポジションを持っている間に、この EA の手動エントリーボタンでポジションを追加するという使い方です。

この場合、ポジションを追加するのを想定して、ロット数を下げるなど調整してください。

このやり方は、自動で EA が買いポジションを持っている間に、Buy エントリーボタンで買いポジションを追加します。すると、決済時間に買いポジションが自動で一括決済されます。途中で決済したいときは Buy 決済ボタンで決済できます。

なので、買いポジションを持っているときに、買い決済時間には今より上がっているだろうと予想したら買いポジションを追加する、というイメージです。

EA のパラメーターで自動決済が true の場合、ゴト一日の買いエントリー時間から買い決済時間以外は Buy エントリーボタンで買いポジションを入れてもすぐに決済されてしまうので、EA が買いポジションを持っている間に買いポジションを追加する、という使い方です。

同様に、Sell エントリーボタンでの売りポジションの追加も、EA のパラメーターで自動決済が true の場合、自動で売りポジションを持っている間に追加します。すると、売り決済時間に売りポジションを一括決済します。MT4 のトレードパネルやスマートフォンの MT4 でのエントリーは、マジックナンバーが違うため、自動決済されません。

3. 手動トレードツールとして EA を使う

この EA は、エントリーボタンと一括決済ボタンが搭載されているので、手動トレードツールとしても使うことができます。一括決済ボタンがあるので、複数のポジションを持ってトレードするときに便利です。

手動トレードツールとして使う場合、パラメーターの設定で、自動買いエントリーと自動売りエントリーと自動決済を false にします。

自動買いエントリーと自動売りエントリーは true でも大丈夫ですが、自動決済が false の場合、ゴト一日のエントリー時間に自動でエントリーが入りますが、決済時間に自動決済されないなので、手動で決済するか、自動エントリーが入ったら自動決済を true に変更する必要があります。

パラメーターで利確幅、損切幅、エントリーするロット数を好きなように調整してください。設定されたロット数は Sell エントリーボタンと Buy エントリーボタンの間に表示されます。

チャートに表示されているボタンでエントリーと決済をします。SELL ボタンで売りエントリー、BUY ボタンで買いエントリー、SELL 決済ボタンでこの EA の売りポジション一括決済、BUY 決済ボタンでこの EA の買いポジション一括決済、BUY & SELL 決済ボタンでこの EA のポジションを全決済します。(同じ通貨ペアの同じマジックナンバーのポジションを一括決済する仕様になっています。)